

令和2年度前学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 講義・演習科目

質問・回答 (特に記載がない場合は 5:強く思う, 4:そう思う, 3:どちらとも言えない, 2:そう思わない, 1:全くそう思わない) ◇受講した授業科目に関して, 質問1~9は授業全体及び教員について, 質問10~17は自分自身についての評価項目となります。	前学期前半科目					前学期後半科目					前学期科目					サマーセッション科目				
	専門			一般		専門			一般		専門			一般		専門			一般	
	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基
Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	—	—	—	—	—	3.8	—	4.1	4.1	4.2	4.1	—	3.9	3.9	—	—	—	4.6	4.6
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	4.2	4.2	4.1	4.2	—	4.1	4.1	—	—	—	4.4	4.4
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	—	—	—	—	—	—	3.5	—	4.2	4.2	4.2	4.1	—	3.8	3.8	—	—	—	4.4	4.4
Q4 授業は学生の反応や理解度を考慮しながら行われましたか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	3.8	3.8	3.9	4.0	—	3.4	3.4	—	—	—	4.4	4.4
Q5 授業は円滑に運ぶよう配慮していましたか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	4.1	4.1	4.1	4.1	—	3.8	3.8	—	—	—	4.4	4.4
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	4.1	4.1	4.1	4.0	—	3.5	3.5	—	—	—	4.5	4.5
Q7 メディア講義で利用したシステムや講義動画・資料は、適切でしたか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	4.1	4.1	4.1	4.1	—	3.6	3.6	—	—	—	4.5	4.5
Q8 授業時間(オンタイム)外の学修(内容, 方法等)について, 担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されましたか。	—	—	—	—	—	—	3.6	—	4.0	4.0	3.9	3.9	—	3.7	3.7	—	—	—	4.2	4.2
Q9 課題(レポート, 小テスト等)に対し, 担当教員から学生へのフィードバック(評価や講評等の開示)はありましたか。	—	—	—	—	—	—	3.1	—	4.0	4.0	3.6	3.8	—	3.7	3.7	—	—	—	4.4	4.4
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	—	—	—	—	—	3.3	—	3.9	3.9	4.0	3.9	—	3.6	3.6	—	—	—	4.3	4.3
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	—	—	—	—	—	—	3.9	—	4.3	4.3	4.3	4.1	—	3.9	3.9	—	—	—	4.3	4.3
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	—	—	—	—	—	3.5	—	3.5	3.5	3.9	3.8	—	3.5	3.5	—	—	—	3.6	3.6
Q13 この授業科目を1週(回)受けるに当たり, 授業時間(オンタイム)外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2~3時間, 3: 1~2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	—	—	—	—	—	—	2.9	—	3.7	3.7	3.2	3.1	—	3.6	3.6	—	—	—	3.5	3.5
Q14 現時点での授業への受講率はどのくらいですか。 回答 4: 90%以上, 3: 70~89%, 2: 30~69%, 1: 30%未満	—	—	—	—	—	—	3.9	—	3.7	3.7	3.8	3.7	—	3.7	3.7	—	—	—	3.2	3.2
Q15 この授業科目に関し, 授業時間(オンタイム)外に, 担当教員に対し質問等を行いましたか。	—	—	—	—	—	—	2.4	—	2.7	2.7	2.5	2.7	—	2.4	2.4	—	—	—	3.4	3.4
Q16 この授業科目に関し, 授業時間(オンタイム)外に, 学生間で共に学修しましたか。	—	—	—	—	—	—	3.4	—	2.1	2.1	3.0	2.8	—	2.5	2.5	—	—	—	2.4	2.4

II 実験・実習科目

Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	3.4	—	4.2	4.2	—	—	—	—	—
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.1	3.6	—	4.0	4.0	—	—	—	—	—
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.3	3.4	—	4.1	4.1	—	—	—	—	—
Q4 提出物(課題、レポートなど)の書き方やまとめ方の指導は適切でしたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	3.2	—	4.1	4.1	—	—	—	—	—
Q5 授業は円滑に運ぶよう配慮していましたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.1	3.2	—	4.0	4.0	—	—	—	—	—
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	3.3	—	4.2	4.2	—	—	—	—	—
Q7 メディア講義で利用したシステムや講義動画・資料は、適切でしたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	3.1	—	4.0	4.0	—	—	—	—	—
Q8 授業時間(オンタイム)外の学修(内容, 方法等)について, 担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されましたか。	—	—	—	—	—	—	4.5	—	—	—	4.1	3.4	—	3.9	3.9	—	—	—	—	—
Q9 課題(レポート, 小テスト等)に対し, 担当教員から学生へのフィードバック(評価や講評等の開示)はありましたか。	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	—	4.1	3.6	—	3.9	3.9	—	—	—	—	—
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.0	2.9	—	3.8	3.8	—	—	—	—	—
Q11 あなたにとって学んだ技術や実技などは今後役立つと思いますか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.4	3.3	—	4.1	4.1	—	—	—	—	—
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	3.8	2.9	—	3.4	3.4	—	—	—	—	—
Q13 この授業科目を1週(回)受けるに当たり, 授業時間(オンタイム)外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2~3時間, 3: 1~2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.6	4.4	—	4.4	4.4	—	—	—	—	—
Q14 現時点での授業への受講率はどのくらいですか。 回答 4: 90%以上, 3: 70~89%, 2: 30~69%, 1: 30%未満	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	—	3.8	3.8	—	3.7	3.7	—	—	—	—	—
Q15 この授業科目に関し, 授業時間(オンタイム)外に, 担当教員に対し質問等を行いましたか。	—	—	—	—	—	—	3.0	—	—	—	2.7	3.2	—	2.7	2.7	—	—	—	—	—
Q16 この授業科目に関し, 授業時間(オンタイム)外に, 学生間で共に学修しましたか。	—	—	—	—	—	—	2.5	—	—	—	2.9	3.5	—	2.1	2.1	—	—	—	—	—

※1 「I 講義・演習科目」と「II 実験・実習科目」では質問内容が一部異なります。

※2 「—」の表記は, 該当科目がないことを意味します。

※3 各履修期及び授業区分において, 延べ回答者数が5名未満の場合は, 集計結果を公表していません。

令和2年度前学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果の分析・コメント

1 建築・生活デザイン学科

コロナ感染症問題のため、急遽、全面的にリモート形式に移行して実施された授業に対するアンケート結果となる。

【講義・演習科目】 リモートでの学修となったが、これまでの面接授業時とほぼ変わらない結果を示しており、満足度は概ね良好であった。ただし、リモート授業の性質上あるいは教員の不慣れにも起因してか、Q9課題等に対するフィードバックの値やQ15質問等の値が若干低かったため、今後の改善課題となる。

【実験・実習科目】 こちらもリモートでの学修となったが、動画撮影の工夫やZOOMを導入しての対面授業にできるだけ近いかたちで実施したこと等が功を奏したのだろう、対面授業時と同様の値となっており、良好な満足度を示している。しかしながら来校する機会に恵まれなかったため、やはりQ15質問等の値がやや下がっている。

【まとめ】 リモート学修ということで教員と学生の直接的なコミュニケーションの機会が限定されたことから、フィードバックや質問に影響を与えたことが窺えるため、その改善を図る必要がある。一方で、通学時間が不用となったこと等も起因するのか、授業時間外での学習時間が増加しているため、この点については今後もうまく活用していきたい。

3 短大一般教育

前学期の講義・演習科目については軒並み3点台後半となり、前年度と比べて評価が下がっている。この主な原因としては、新型コロナウイルス感染防止のため急遽メディア授業の実施となり、教員に十分な準備期間がなかったこともあり、新たな状況に合わせた十分な教育を提供することが必ずしもできなかったことが考えられる。後学期も引き続きメディア授業が実施されるため、この経験を活かして一層の改善を図る必要がある。

一方、実験実習科目についてはメディア授業にあっても軒並み4点台であり、満足度は良好であるが、こちらも後学期の対面授業再開に向けて一層の改善を目指したいと考えている。

2 ものづくり・サイエンス総合学科

Q1～Q12の評価項目について、今学期から全教科メディア授業となり単純比較はできないが、講義・演習科目の場合、前年に比べ若干平均値が下がっているものの、4点前後と良好である。しかし、実験・実習科目においては、前年に比べ、厳しい評価となっている。

一方、授業時間外での学習時間（Q13）については、学業成績査定に「理解度確認レポート」を取り入れる教科も多く、大幅な改善がみられる結果となっているが、対面授業時での評価改善に引き続き努める必要があると考えられる。

Q15、Q16の評価項目についても、前年に比べ低い評価となっており、メディア授業ならではの結果となっている。

これらの状況を改善するため、同時双方向型メディア授業をも取り入れた授業形態も増やすなど、対面授業に匹敵するような教育が行えるよう、担当教員に働き掛けていく。